

(報道各社への取材の御案内)

## We hand down Mr. Ellison in history.

～エリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ～

### 「故エリソン・鬼塚氏 33 回忌法要」

1986 年 1 月 28 日午前 11 時 39 分、アメリカのケネディ宇宙センターを飛び立ったスペースシャトル「チャレンジャー号」は 73 秒後、爆発により炎に包まれた。亡くなった宇宙飛行士 7 人のなかにハワイ島生まれの日系三世エリソン・オニヅカ氏がいた(39 歳で殉職)。

同氏の祖父母(父方)はうきは市浮羽町高見出身で、1983 年に先祖の墓参りに訪れた際の浮羽中学校での記念講演で「夢に向かって努力しよう。きっと夢はかなえられる」と語り生徒たちに勇気を与えた。1985 年 1 月には「ディスカバリー」に搭乗し、日系人初の宇宙飛行に成功した。

市内では、郷土ゆかりの宇宙飛行士の偉業を語り継ごうと没後 10 年・30 年に慰霊式や記念行事を開催、1996 年に地元で架け替えられた橋は「エリソン・オニヅカ橋」と名付けられた。

没後 30 年の慰霊祭開催を契機に結成された「エリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ実行委員会」では、昨年は 1 月に福岡県・ハワイ州姉妹提携 35 周年記念協賛事業として、在福岡米国領事館首席領事ジョイ・ミチコ・サクライ氏による記念講演会を開催、また、3 月にはハワイの福岡県人会のエリソン・オニヅカ橋訪問歓迎など語り継ぐ取組を続けているが、今回、没後 32 年の命日を前に、33 回忌法要を執り行う。

○日時 : 1 月 27 日(土) 午前 11 時から(40 分間程度)

○会場 : うきは地域子育て支援センター遊林ランド(うきは市浮羽町高見 680) TEL0943-77-2662

○問い合わせ 主催: エリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ実行委員会(事務局長 関健児 TEL090-8768-5488)



▲オニヅカ橋の親柱には陶板写真、欄干にはスペースシャトルのレリーフが飾られている。

編集: うきは市総務課広報係 (TEL0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2018. 1. 24 発表 / うきはにゆかりのある日系人初の宇宙飛行士「故エリソン・鬼塚氏 33 回忌法要」